

「看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査」概要

この度の新型コロナウイルス感染症の発生及び感染拡大により、衛生材料等物資不足、看護職員の労働環境悪化、看護職員への差別・偏見等、近年、看護界が経験したことのない事態となりました。

日本看護協会は、看護職能団体として ①国への提言 ②臨床現場への支援・情報提供 ③国民への情報発信 を的確かつ迅速に行い、看護職員が安全・安心に働き、国民の健康・福祉に貢献できるような体制整備に向けた政策提言・情報発信を行ってまいります。

それらの活動の基礎資料・根拠とするため、看護職員の皆様を対象に、以下の内容で実態調査を行います。ご多忙中大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力をお願いいたします。

【実施期間】

9月8日(火)～22日(火)

【調査方法】

web 調査

【調査目的】

この度の新型コロナウイルス感染症発生にあたり、看護職員の対応や労働環境等に関する実態を把握することを目的としています。調査結果は、感染症発生時の看護体制のあり方、本会からの適切な情報提供のあり方等を検討する資料として活用いたします。

【調査対象】

全国の介護老人保健施設の看護管理者

【ご案内方法】

本会より依頼文書を郵送にてお送りいたします。調査専用サイトより回答いただきます。

【倫理的配慮】

- ・本調査は日本看護協会研究倫理委員会による倫理審査を受け、承認されています。
- ・回答時間は概ね30分以内です。設問はほとんどが選択式ですので、前もってデータ等を準備いただく必要はございません。
- ・回答なさらない場合でも不利益が生じることはございません。
- ・調査結果は国への政策提言等に活用いたしますが、回答者が特定できないかたちで統計処理いたします。